

『専門日本語教育研究』第26号 論文賞

「日本語学習者の辞書リソース利用の拡張
—韓国語・中国語話者によるスマホを用いた語彙検索行動の実態—

吉 甜 (国立国語研究所 プロジェクト非常勤研究員)
佐野 彩子 (国立国語研究所 プロジェクト非常勤研究員)
石黒 圭 (国立国語研究所 教授)

〔授賞理由〕

本報告は、韓国語・中国語を母語とする中上級日本語学習者によるスマートフォンを用いた語彙検索行動の実態を詳細に分析した研究である。特に注目すべき点として、以下の3点が挙げられる。第一に、韓国語母語話者と中国語母語話者の辞書リソース利用の特徴を、リソースの種類および入力方法の点から、具体的なデータを基に明らかにしていることである。第二に、検索が上手くいかなかった事例を慣用表現、専門用語、外来語、オノマトペの観点から分析し、従来の辞書アプリだけでなく、機械翻訳や生成 AI、画像・動画検索などの複合的なリソースを活用することも有効であることを指摘していることである。第三に、これらの分析結果を踏まえ、日本語教師が学習者に提供すべき辞書リソース選択のストラテジーについて、辞書以外のサービスの使用を含めた具体的な提言を行っていることである。

ICT 技術の発展により学習者の辞書利用環境が大きく変化している中、実際の検索行動を丹念に観察・分析することで、現代の日本語学習者が直面している課題を明らかにしている。その上で、新しく出現した生成 AI などの技術を、いかに言語学習に取り込むかについても検討した点で、現場の日本語教師にとって有益な示唆を提供しているといえる。

専門日本語教育の場面においては、一般的な辞書アプリでは検索できない用語や、分野特有の語義の理解が求められることが多い。その際は辞書以外のリソースを活用せざるを得ない。その点においても、本研究は、理論と実践の両面から専門日本語教育に大きく貢献する研究として高く評価できる。以上の理由から、本報告を論文賞の受賞対象論文としてふさわしいものと判断する。

受賞に際しての所感

吉甜・佐野彩子・石黒圭

このたびは論文賞に選出いただき、大変光栄に存じます。また、査読や選考に関わっていただいた先生方、調査にご協力いただいた先生方や学生の皆様に、心より御礼申し上げます。

今回、受賞の対象となった論文では、韓国語・中国語母語学習者を対象に、ICT 端末を用いて日本語をどのように検索しているのかという実態を明らかにすることを試みました。同時に、辞書アプリだけでなく、オンライン辞書、機械翻訳や生成 AI、画像や動画を含むインターネット検索といった多様なリソースを組み合わせるといふ、語彙検索のリソースを広く柔軟に捉えた検索ストラテジーを提案したものです。このような検索ストラテジーは、学習者の語彙検索の支援につながる、非常に重要な情報であると認識しています。

このたびの受賞を大きな励みに、学習者向けの辞書開発や語彙検索の指導法にかんする研究をさらに進めていきたいと思っております。